

特集

知ってる？

## 北広島市とファイターズの取り組み

北海道日本ハムファイターズのボールパーク（以下BP）開業まで約3年。市では、BP構想の推進はもちろん、さまざまな場面でファイターズと連携してまちづくりを行っています。

問合せ ボールパーク推進課（☎372-3311・内線3633）



### 正式決定から約1年4カ月

北海道のシンボルとなる空間を目指すBP。平成30年10月31日に建設が正式決定してから約1年4カ月がたちました。昨年の秋に土地の造成工事が始まり、年末に新駅の設置案についてJR北海道から発表されるなど、BPに関する情報が日々報道されています。

BPに関するものだけではなく、市とファイターズの取り組みはこのほかにもたくさんあります。

### 連携は幅広い場面で

令和元年7月27日、整備前のBP建設予定地に入ることができる最後の機会として「ボールパーク（予定地）で遊ぼう！」を開催しました。

このイベントは市が企画し、バッテリーングコーナーの運営や、来場者プレゼント用のキャップの提供などでファイターズが全面的に協力。約800人の市民が参加し、多くの方にBPへの期待を高めてもらうことができました。

この他にも、2023年の開業に向けて機運を盛り上げるため、市とファイターズは幅広い場面で連携しています。これまで行った取り組みを紹介します。

## ボールパーク（予定地）で遊ぼう！

子どもたちや子育て世代にも広くBP構想を知ってもらうため開催。はしご車で予定地の全景を見て、自然がいっぱいの空間でキャッチボールをするなど、BPのわくわく感を体験してもらい、幅広い世代に構想への理解を深めてもらうきっかけとなりました。

ファイターズの試合は年に1～2回見に行っています。BPができると観戦する機会が増えると思います。市内外からたくさんの方が集まる場所になってほしいです。  
牧野一樹さん、心春さん、匠馬さん（輪厚中央）



# 北広島市×北海道日本ハムファイターズ連携事業

平成30年1月、お互いが持つ資源を活用し、共に発展するための取り組みを協力して行うことを目的にパートナー協定を締結。これに基づき、市とファイターズの連携事業を行っています。

## スポーツ・コミュニティin北広島

今まで市が行ってきた事業にファイターズの専門的な知識が加わることで、ファイターズの企業理念であるスポーツと生活が近くにある社会「スポーツ・コミュニティ」の実現を目指す取り組みです。

ファイターズの管理栄養士を講師に、食育講演会を行いました。例年より幅広い層の参加があり、多くの方に興味を持ってもらえました。

健康推進課 山根千歩



担当しました！



㊤子ども発達支援センターオープニングイベントで行われたダンス体験 ㊥ファイターズの管理栄養士を講師に、食育講演会を開催



㊤ファイターズSCOの稲葉篤紀さんがスターターを担当 ㊥競技終了後にトークショーを開催

## きたひろしま30kmロードレースとの連携

ファイターズファンをはじめ、より多くの方が気軽に参加できるファイターズラン部門を新設。コースはBP建設予定地周辺で、参加者には限定ユニフォームを配布しました。競技終了後、平成30年度はパブリックビューイング、令和元年度はトークショーを開催し、多くの参加者が集まりました。

## 小・中学校との連携

ファイターズの職員などが講師となり、体育授業やキャリア教育授業を通して運動能力の向上と将来の夢を育む取り組みです。平成30年度～令和2年度の3年間で、市内全小・中学校において実施します。

キャリア教育授業を受けて、諦めず責任を持って取り組むことの大切さを学びました。自分の夢に向かってさらに頑張りたいです。

大曲中学校2年 中屋日恋さん



参加しました！



㊤ベースボールアカデミーコーチによる体育授業 ㊥球団職員によるキャリア教育授業

## お互いの発展につながる事業

市民にとってファイターズがより身近になるよう、市民優待事業やファンクラブ新規入会キャンペーンなどを行うほか、市とファイターズがそれぞれの組織を理解するために合同職員研修を実施。市内の公共施設などで行っている試合日程表の配布やポスターの掲示も、事業の一環として実施しています。

市職員と球団職員がアイデアを出し合い、お互いの魅力を引き出せるような取り組みを行っています。開業に向け、今後もさまざまな取り組みに挑戦したいと思います。

株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメント トランティ美蘭さん



担当しました！

## ボールパーク推進期成会

B P構想を盛り上げるため、平成30年5月に発足しました。上野市長を会長に商工会や自治連合会、社会福祉協議会などで構成され、官民一体となって構想実現のために取り組んでいます。市民応援ツアーやグッズの作成なども行っています。

市民応援ツアーに参加しました。B Pによって、まちにぎわいができるのが楽しみです。子どもが遊べる場所があると良いですね。

小林幸代さん、尚央さん（大曲緑ヶ丘）



- ④オリジナルロゴを作成
- ⑤市民応援ツアーでファイターズ戦を観戦

## オール北海道ボールパーク連携協議会

令和元年7月、北海道のシンボルとなるB Pを通して道内各地の活性化を実現するために設立され、近隣自治体や企業、学識経験者などが参加しています。4月には近隣自治体が意見交換などを行う圏域連携勉強会、10月には「食の魅力提供」「周遊策」「スポーツ・人づくり」「交通」の4つの分科会が発足。オール北海道体制で北海道の魅力や価値の向上に取り組めます。

オール北海道ボールパーク連携協議会

圏域連携勉強会

分科会

食の魅力提供

周遊策

スポーツ・人づくり

交通

## ふるさと納税

平成31年4月、返礼品にB P関連グッズを追加し注目が集まりました。この他にもさまざまな返礼品の追加に伴い、ふるさと納税による寄付額は、平成30年度の4,059万817円から1億1,853万4,000円（令和2年2月21日現在）に増加しました。

また、寄付金の使い道として「北海道ボールパークに関連する施策の推進」を選択した方全員に、B P構想について紹介する「HOKKAIDO BALLPARK VISION BOOK」を併せて送付しています。今後もより多くの方にB Pについて知ってもらうため、新しい返礼品などを検討していきます。

### B P関連の主な返礼品



新球場イメージ図が描かれた「白い恋人」



ボールパークTシャツ



オリジナルパッケージの「ゆめぴりか」



HOKKAIDO BALLPARK VISION BOOK

全員に送っています！

今後の展開について  
これからも、市とファイターズの連携は続きます。リアル野球盤を用いた多世代向けイベントを実施するほか、本紙でもファイターズに関する新たなコーナーを設置するなど、さまざまな取り組みを検討しています。

イベントなどを実施する場合は、本紙「ボールパークニュース」や市ホームページ「ボールパーク特設サイト」で随時お知らせしますので、ぜひご覧ください。

## ファイターズ 絵本寄贈プロジェクト

株式会社ボールパークシティが実施したクラウドファンディングによる事業です。市内の幼稚園、保育園などにファイターズ選手会が作成した絵本などを配布することを通して、子どもたちがファイターズに愛着を持ち、将来親子でB Pを訪れるようなまちづくりを進めることを目的として実施されました。令和元年7月1日～12月20日で402,600円の寄付が集まり、今後市内22施設に絵本が贈られます。

やっぱり気になる!

# しんちよく B P構想の進捗状況

## 1 B Pエリア名、新球場名が決定

1月29日に記者会見が行われ、B Pエリア名と新球場名が発表されました。

エリア名は「HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE（北海道ボールパークFビレッジ）」に決定。新球場名は株式会社日本エスコンと株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメントが球場ネーミングライツ契約を締結し、「ES CON FIELD HOKKAIDO（エスコンフィールドHOKKAIDO）」に決定しました。



## 2 新駅の設置案を検討

令和元年12月11日、J R北海道がB P開業に伴う新駅設置案などを発表しました。混雑時や快速通過時、また新駅始発の臨時列車にも安全に対応ができ、B Pからスムーズに移動できる駅を目指します。また、工事費は80~90億円、工期は7年と想定されています。設置の早期実現に向け、今後も協議を進めていきます。

既存の北広島駅についてもホームの延伸や改札口の増設などの改修を行い、利用者の増加に対応していきます。



## 3 5月から新球場建設工事に着工

4月13日、建設地で起工式が行われる予定です。世界がまだ見ぬB Pの実現に向け、大きな一歩を踏み出します。

今年は掘削工事や基礎工事が中心となり、その後、建物本体や可動屋根の工事へと進む予定です。同時に、B Pを取り囲む道路を現状の2車線から4車線へ拡幅する工事も行います。こちらも2023年の開業に向け、順次整備を進めていきます。工事期間中は、何かとご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。



## 北広島市とファイターズの連携を通して

ボールパーク推進室長  
川村裕樹

市はB P構想の成功を「究極の地方創生」としていますが、それは2023年の開業後のことではありません。今回紹介したように、ファイターズとさまざまな形で連携することで、既にB P構想やスポーツによるまちづくりは歩み始めています。また、B Pをきっかけに、北広島市の名前が今まで以上に知られ、まちのPRにもつながっていると実感しています。

開業まであと3年。この期間を大切にしながら、市民の皆さんやファイターズと連携し、より良いまちづくりを進めていきたいと思ひます。

